



令和7年（2025年）3月吉日
札幌市立藻岩中学校PTA
PTA会長 矢野智章
校長 富川 浩

PTA だより

保護者のみなさま、お子様のご卒業・進学おめでとうございます。日ごろより本校PTA活動にご理解・ご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

PTA事務局の活動報告と今後の予定等、ご報告させていただきます。

活動報告

- 12月6日 みんなの学び場 アンガーマネジメント講座開催
- 12月11日 みんなのしゃべり場 ゲスト：校長先生 開催
- 1月17日 みんなのしゃべり場 ゲスト：教頭先生 開催
- 1月24日 みんなの学び場 ズンバ教室 開催
- 2月28日 第5回事務局会開催
- 3月6日 第5回役員会開催
- 3月8日 みんなの学び場 東野昭彦さん講演会 開催

今後の活動予定

- 3月14日 卒業式出席
- 4月9日 入学式出席
- 4月15日 学級PTA・PTA総会開催

報告目次

- 1、3月8日講演会開催報告
- 2、制服リサイクルへご協力をお願い
- 3、小冊子増刷の報告とアンケートのお願い
- 4、役員選出委員会
- 5、4月PTA総会のお知らせ
- 6、役員からごあいさつ



1、3月8日講演会開催報告

3/8
(土)

「耕せにっぽん」 東野昭彦さん講演会

よく晴れた3月8日本校体育館にて講演会を行いました。生徒・先生・保護者、地域の方・他校のPTA役員・民生委員・高校の先生など約100名の参加がありました。約千人の若者に笑顔と自信を取り戻してきた東野さんの言葉には、愛と力がありました。



東野さんのお話の根幹は「人を喜ばせることこそ人生」

「人を喜ばせること・人のお役に立つこと」が最も大事。それは「私にとってどうか」だけでなく、「相手にとってどうか」、一人称ではなく二人称で考えるということ。それによって誰が幸せになるかを想像して考えること、そのために勉強や仕事をするのだとお話されていました。

事後のアンケートで、子どもたちからも「今までは、勉強でもスポーツでも周りと比べて成績がいいのが正解だと思っていましたが、比べる必要はなく、人を喜ばせることが大切だと感じました」「優秀な人とは人のつらさを理解できる人と思いました」「自分の親に聞いてほしかった」など、たくさんの感想をいただきました。

東野さんの言葉を心にしまって、いつか役に立ててくれたらという想いで企画した講演会なので、想いが届いたようで嬉しかったです。最後に、当日お手伝いしてくれたボランティアの方、片付けまでお手伝いいただいた先生方、みなさんありがとうございました。



陸上部の生徒たちが会場設置をお手伝いしてくれて、本当に助かりました。



講演会のあとは交流会。円形に椅子を並べて語り合いました。中学生、先生、高校の先生たちが感想を話してくれ、それに対する東野さんの言葉はみなに深い学びになりました。

講演会関連企画 愛の木プロジェクト

東野さんの講演会に寄せて、PTAでは保護者から子どもたちへのメッセージを掲示するプロジェクトを行いました。子どもたちへの温かな言葉を、ありがとうございました。

「親御さんたちからの愛てんこ盛りのメッセージを読んで、毎回感動の涙なみだです。藻岩中のお母さんたちサイコー！」(担当者より)



2、制服リサイクルへご協力をお願い

すぐーる配信やプリントでお知らせしていますが、卒業やサイズアウト等で不要になった制服のご寄付を募ります。受付期間は、4月15日～5月30日。東玄関内に回収ボックスを設置します。詳しくはすぐーる配信やプリントをご覧ください。売上はPTA特別会計に繰入れ、子どもたちのために使わせていただきます。ぜひご寄付をお待ちしております。



3、小冊子「学校に行きたくないときに読む本」

小冊子「子どもが学校に行きたくないときに読む本」、校内・校外からの配布のご要望により、再度増刷いたしました。PTA会員である本校保護者教職員の方へは無料配布、校外の方へは印刷費実費210円でお譲りしています。現在も2階職員室隣のガラスケース上で展示・配布しておりますので、必要な方はお受け取りください。また、お読みいただいた方へのアンケートをすぐーるにて実施します。読んだ感想などをお聞かせください。

4、役員選出委員会報告

来年度、事務局役員の選出が4～5名必要ですが、まだ定員に達していないため引き続きお声がけや選出を続けていきます。

5、4月のPTA総会へお誘い

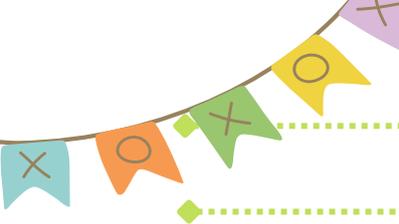
現1・2年生の保護者の方へのご案内となります。

4月15日(火)午後15:20より体育館にてPTA総会を開催します。

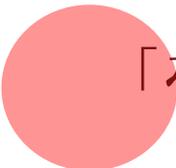
公開授業、学級PTAの後に開催の予定です。ぜひ予定を空けておき、ご参加くださいますよう、よろしくお願いたします。

(詳しくは新年度におたよりが配布されます。)





6、役員からごあいさつ



「なんのためにPTA活動しているの？」

会長 矢野智章

「みんなの学び場」今年度最後の企画として東野昭彦氏の講演会を3月8日に開催し、約100名の方にご参加いただきました。「何のために勉強するの？学校に行くの？働くの？そんな疑問の答は見つかったよ！」そう言っていただけたら、企画側としてとても嬉しいです。そもそも「みんなの学び場」の“学ぶ”って何のため？何のために企画開催してきたの？そんな活動の原点を考えたときに、東野さんのお話と共通するものがありました。

「子ども達や保護者のみなさんの役に立ちたい、喜ばせたい、楽しませたい。そのために人がお互いに関わり合うことで、相手の想いや、要望、不安や悩みを理解する場、理解しあえる人に成長できる場があったらいい！」そういう想いが企画の原点であり、東野さんのお話しとの共通点でもあります。

「PTAは必要？必要ない？」この質問に対する意見は人によって様々かと思います。では「子ども達が育つ環境や、これから生きていく社会の未来をより良いものにしたい？したくない？」この質問に対しては誰もが良いものしたいと答えると思います。

PTAは過去から先輩が積み上げてきた組織のベースや信頼があります。そんなPTAをよい社会を創るために活かさない手はない！そう思って活動しています。

東野さんの講演の中で、「自分の居場所は自分で創るもの」というお話がありました。

コロナ禍で白紙に戻ったPTA活動でしたが、今回の企画で100名もの方にご参加いただけるようになりました。「藻岩中学校PTAの新しい居場所が創造されてきた！」そう感じて嬉しく思います。今後も、やり方は過去にとらわれず、PTAのあり方を大切に企画運営していきたいと思っています。無理なく出来る範囲の参加で、どなたでも大歓迎です。ご参加お待ちしております！

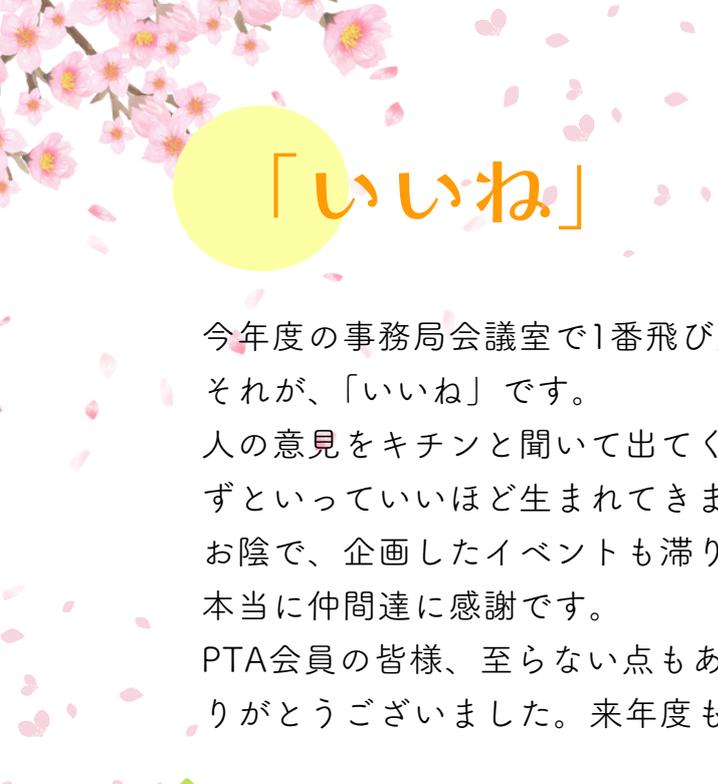


1年間とても楽しく駆け抜けました。

副会長 松谷元子

1年間とても楽しく駆け抜けました。自分たちで企画運営し、いちからものを作る楽しさ。関わった人たちの嬉しそうな笑顔を見れたり、取材や司会など初めての経験も沢山しました。楽しんで活動している事を子どもたちも応援してくれて嬉しかったです。矢野会長はじめ事務局メンバーに感謝の気持ちいっぱいです。





「いいね」

副会長 的場享子

今年度の事務局会議室で1番飛び交っていた言葉。

それが、「いいね」です。

人の意見をキチンと聞いて出てくる「いいね」からは、次のアイデアが必ずといっていいほど生まれてきました。

お陰で、企画したイベントも滞りなく終えることができました。

本当に仲間達に感謝です。

PTA会員の皆様、至らない点もあったかと思いますが、ご協力、ご参加ありがとうございました。来年度も再来年度も、お気軽にご参加ください。

「やりたいことから始まる活動」

会計 早稲田亜希子

やらなければならないこと、ではなく、やりたいこと、から始まるPTAの活動は、とても楽しく刺激的でした！ たくさんの企画があり充実した1年間でした。ご協力いただき温かく支えてくださった会員の皆様と先生方、本当にありがとうございました。

「今年度のふり返り」

会計 佐藤麻里

今年度も、役員メンバーが「学校の生徒や保護者、そして地域の人々のためにやりたい」と思ったことをお互いに協力しながらやり遂げた一年になりました。それぞれがお互いの意思や事情を尊重して、できる人ができることを、できる時にやろうと協力した結果、相乗効果で力が集結したように思います。

みんなで楽しみながらやろうという気風がまたよくて、風通しのよいやる気に満ちた組織運営となったことを誇りに思います。

これからのPTA活動が、ますます進化していきますように。



駆け抜けた幸せMAXな一年



書記 齊藤三月

事務局メンバーは、宝★

活動は、安心×愛♡

子ども達は、ヒカリ★

先生&保護者=最高！

勇気と、ちょっぴりのワクワク感で事務局に飛び込み、人と繋がれ、濃い活動、心の喜びを味わい、自分を育てて笑顔増えた！

めぐみたくさんのこの一年、「特別な日常」をありがとう！

「やりたいことは全部やろう」by会長

書記 新田晴美

3年間書記をさせていただきました。最初の一年半はコロナで活動できず、コロナ明けから活発な活動がはじまりました。そのなかで、幸運だったことが3つありました。

一つはコロナ初期にPTAがスタッフ制に制度変更されていたこと。強制的な役員選出がないのは、藻岩中の素敵なところだと思います。おかげで、矢野会長がつくる自由闊達な空気のなか、役員みんなが生き生きと活動することができました。子どもや保護者や先生や地域のために「やりたいこと全部やろう！」という会長の方針が素晴らしかった。

二つ目は、先生方との距離が近くなり「人」として感じられたこと。役員になる前は「学校」を、無機質な灰色の箱のように感じていました（ごめんなさい）。けれど、さまざまな場面で垣間見た先生方の横顔は、「血の通った温かい人」で、一生懸命で、ときにお茶目で、子ども達への深い愛情にあふれていました。「しゃべり場」にゲストとしてお招きした校長先生・教頭先生のお話に感動し、もっとたくさんの先生のお話を聞きたいね、保護者の方にもっと聞いてもらいたいねと事務局みんなで話していました。

PTA不要論がささやかれ、実際にPTAが廃止される地域も出てきていますが、子どもの育ちを考えると、先生と保護者が人と人として信頼し理解しあうことはとても大切だと思うのです。そんな機会の一助になれる可能性があるのがPTAかと思います。8日の講演会にも、数人の先生方が出席して感想をお話くださって嬉しかったです。

三つ目は、こんなイイ年で、新たに素敵な仲間と出会えたこと。PTAスゴイ。

可能性に満ちたPTA活動に、役員として、あるいはボランティア、あるいは参加者として、気軽に参加していただけたらと思いました。ありがとうございました。

